

日本分析化学会第 66 年会

— 講演募集 —

標記年會を 9 月 9 日 (土) から 12 日 (火) の日程で東京理科大学葛飾キャンパス (東京都葛飾区) において開催します。講演申込及び講演要旨の提出 (入力) にはオンライン登録システム (Web) を使用します。郵送, FAX 及び電子メールでの受付は一切行いませんのでご注意ください。本年会では, 一般講演 (口頭発表, ポスター発表), 若手講演 (ポスター発表), テクノレビュー講演 (口頭発表, ポスター発表) 及び別記シンポジウム枠での講演 (一般講演口頭発表) を設けます。皆様のご参加をお待ちしております。また, 本年会期間中に Asia/ CJK symposium on analytical science 2017 (Asia/CJK と略) を 9 月 9 日・10 日に開催します。Asia/ CJK シンポジウムで発表を希望される方は, 年會に参加登録をしてください。また本シンポジウムでの講演申込及び要旨の提出は別途行います。講演申込等の詳細は年會実行委員会ホームページ (以下, 年會 HP と略) を参照ください。

【日本分析化学会第 66 年会実行委員会 Web サイト (講演申込)】

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/66/>

【日本分析化学会第 66 年会講演申込スケジュール】

講演申込締切日時: 6 月 7 日 (水) 14 時 (厳守)

講演要旨本文入力締切日時: 7 月 5 日 (水) 14 時 (厳守)

会期 2017 年 9 月 9 日 (土) ~ 12 日 (火)

日程 9 月 9 日 (土): 一般講演 (口頭), 依頼講演 (口頭), 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, チュートリアルセッション, Asia/ CJK, 分析化学フューチャーセッション

9 月 10 日 (日): 一般講演 (口頭), 若手講演 (ポスター), 依頼講演 (口頭), テクノレビュー講演 (口頭), 受賞講演, 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, 産業界シンポジウム, Asia/ CJK, ランチョンセミナー, 機器展示会

9 月 11 日 (月): 一般講演 (口頭, ポスター), 若手講演 (ポスター), 依頼講演 (口頭), テクノレビュー講演 (口頭, ポスター), 受賞講演, 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, 学会賞等授賞式, 学会賞受賞講演, 懇親会, ランチョンセミナー, 機器展示会

9 月 12 日 (火): 一般講演 (口頭, ポスター), 依頼講演 (口頭), テクノレビュー講演 (口頭, ポスター), 受賞講演, 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, 機器展示会

注) 日程は変更する場合があります。

会場 東京理科大学葛飾キャンパス [東京都葛飾区新宿 6-3-1, 交通: JR 常磐線 (東京メトロ千代田線) 「金町」 駅下車, または京成金町線 「京成金町」 駅下車, いずれも徒歩 8 分]

<https://www.tus.ac.jp/info/access/katcamp.html>

懇親会 9 月 11 日 (月) 18 時 30 分 ~ 20 時 30 分

会場 東京理科大学葛飾キャンパス生協食堂

募集発表形式 01: 一般講演 (口頭発表), 02: 一般講演 (ポスター発表), 03: 若手講演 (ポスター発表), 04: テクノレビュー講演 (口頭発表), 05: テクノレビュー講演 (ポスター発表) です。

【講演申込要項】

- 講演時間は, 一般講演 (口頭発表) は 15 分 (講演 12 分, 討論 3 分) です。テクノレビュー講演 (口頭発表) は 30 分 (講演 25 分, 討論 5 分) で行います。また, 依頼講演 (口頭発表) は原則として 30 分 (講演 25 分, 討論 5 分) で行います。すべてのポスター発表の時間は 60 分を予定しています。若手講演 (ポスター発表), テクノレビュー講演 (口頭・ポスター発表) 及びシンポジウム枠での一般講演発表 (口頭) を希望する場合は別記も参照ください。講演方法等については, 第 66 年会ホームページ (以下, 年會 HP と略) に掲載します。プログラム編成の結果, 講演時間を変更することがあります。
- 本年会ではすべての口頭発表会場にプロジェクター, RGB ケーブル, PC 切替器等を用意します。講演者はデータの入ったノートパソコンを持参して講演発表を行ってください。
- 講演する人 (登壇者) は, 講演申込時点において日本分析化学会の個人会員であること。会員は 2017 年会費が納入済みであること。個人会員以外で講演を希望する方は, 学会 HP からオンラインで入会手続きをするか, または入会申込書をダウンロードして個人会費の入会手続き (入会月は 2017 年 1 月として入会申込書を早急に送付してください) を済ませた上で, 講演申込してください。また, 登壇者は年會への参加申込登録をしないと講演発表ができないので注意してください。**
学会入会案内 <http://www.jsac.jp/nyukai>
- 同一演題で発表形式を変えて (例えば口頭発表とポスター発表) 重複講演することは認めません。
- 関連ある複数の講演 (口頭発表に限る) を連続して発表したい場合 (一連発表) は, 講演申込締切までに発表順序を登録してください。但し, 講演

分類が一致している場合に限ります。一連発表の登録ができるのは「一般講演（口頭）」の発表とします。連続講演希望講演日及び講演時間の指定は一切受け付けません。なお、希望にそえない場合もあるので、最終決定は実行委員会に一任してください。

6. 発表形式・講演分類の変更、講演日の決定、講演時間の調整など、プログラム編成に関する事項は、すべて実行委員会に一任してください。
7. 会場の都合で、口頭発表をポスター発表に変更する場合、またはその逆の場合は、事前に実行委員会より連絡します。
8. 講演申込者は、上記の各項を了解のうえ、講演申込を行ってください。

講演申込方法 Web申込に限ります。年会HPの「Web申込 要旨本文登録方法」や「登録に関する注意事項」を熟読のうえ、講演申込登録及び要旨本文の入力を行ってください。郵送、FAX及び電子メールでの申込は一切受け付けません。講演申込登録締切日時を過ぎてのWeb上からの入力できません。申込者のコンピューター環境（ネットワーク環境を含む）が原因で講演申込の登録に不備をきたしても、実行委員会、学会事務局、年会ヘルプデスクは一切責任を負いません。講演申込に関する緊急情報や変更点などのお知らせ、講演申込システム等の障害情報は速報性を考慮してすべて年会HP（または学会HP）に掲載しますので、適宜ご覧ください。登録システムを予告なく変更する場合があります。最新情報は年会HPを参照ください。

注意事項 発表内容等については、あらかじめ講演申込者の責任で関係機関及び連名者の同意を得てから講演申込を行ってください。発表内容等について問題が生じた場合でも、実行委員会、事務局は一切の責任を負いません。

Web版講演要旨集記載の発行日は2017年8月26日とします。本要旨集に掲載されたものについての著作権は、公益社団法人日本分析化学会に帰属します。

【第66年会講演申込登録スケジュール】

講演申込締切日時：6月7日（水）14時（厳守）

注）登録締切日時までは講演申込内容の修正、要旨本文入力・修正、画像アップロードが可能です。

要旨本文入力開始日時：6月12日（月）

注）講演要旨本文および画像アップロードが可能です。講演申込内容の修正はできません。

要旨本文入力締切日時：7月5日（水）14時

参加予約申込要項掲載：「ぶんせき」誌7月号及び年会HP参照してください。

【講演分類】

- 01：原子スペクトル分析（ICP-MSを含む）
- 02：分子スペクトル分析（吸光分析法、蛍光・リン光分析法、赤外・ラマン分析法、表面プラズモン共鳴など）
- 03：レーザー分光分析（フォトサーマル・レーザー励起発光、顕微分光、非線形分光など）
- 04：X線分析・電子分光分析
- 05：放射化学分析
- 06：NMR, ESR, 磁気分析
- 07：電気化学分析
- 08：センサー、センシングシステム
- 09：熱分析
- 10：有機微量分析（元素分析を含む）
- 11：質量分析
- 12：マイクロ分析系（マイクロチップ、マイクロ分離システム、一分子検出系など）
- 13：フローインジェクション分析
- 14：液体クロマトグラフィー
- 15：ガスクロマトグラフィー
- 16：電気泳動分析（キャピラリー電気泳動システム）
- 17：溶媒抽出法、固相抽出法、イオン交換系
- 18：分離・分析試薬の設計
- 19：分析化学反応基礎論（平衡論、速度論）
- 20：データ処理理論（ケモメトリックス、パターン認識、コンピューター利用など）
- 21：標準試料
- 22：サンプリング、前処理
- 23：界面・微粒子分析（液液系、固液系、ナノ粒子、SPMなど）
- 24：宇宙・地球に関する分析化学（天体、大気、河川・海洋、土壌など）
- 25：地球環境関連分析（環境汚染物質、環境放射能、粉じん、生体影響物質）
- 26：エネルギー関係（電池材料、燃料電池材料、バイオマスなど）
- 27：農業、食品等分析（食物、野菜、家畜、遺伝子組み換えなど）
- 28：無機・金属材料分析
- 29：有機・高分子材料分析（有機・無機複合体材料を含む）
- 30：医薬品、臨床分析（医薬品分析・臨床化学分析・法科学分析、イムノアッセイ、POCT、医療用バイオセンサ、インビボ計測）
- 31：バイオ分析・イメージング（核酸、遺伝子、タンパク質、細胞、イメージング、プローブ顕微鏡など）
- 32：その他
注）講演プログラム速報版は年会HPに7月下旬に掲載予定です。

【テクノレビュー講演募集】

主催 日本分析化学会第 66 年会実行委員会
期日 9 月 9 日 (土) ~12 日 (火)
会場 東京理科大学葛飾キャンパス (年会会場)
講演形式 「発表形式」の欄で“04: テクノレビュー (口頭)”か“05: テクノレビュー (ポスター)”を選択してください。口頭発表は 30 分 (講演 25 分, 討論 5 分), ポスター発表は 60 分の予定です。講演要旨は Web 版講演要旨集に掲載します。
講演料 口頭発表: 1 件 50,000 円, ポスター発表: 1 件 30,000 円。講演料には発表者の参加登録料 1 名分が含まれます。
講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン (Web) 上からお申し込みください。「発表形式」の欄で, “04: テクノレビュー講演 (口頭)”または“05: テクノレビュー講演 (ポスター)”を選択してください。登壇者が会員外の場合には, 年会ヘルプデスクまでご連絡ください。確認後ヘルプデスクより ID を発行いたします。講演申込・講演要旨入力はすべて本年会の講演申込・要旨入力等の諸規則に準じます。
講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【若手講演 (ポスター発表) 募集】

主催 日本分析化学会第 66 年会実行委員会
共催 全国若手交流会
趣旨 分析化学は自然科学において重要な役割を果たすとともに, 産業における技術革新の基盤となっています。その一方で, 社会において分析化学の重要性を十分に認識してもらうには自らの情報発信が不可欠です。本企画では, 分析化学の将来を担う学生及び若手研究者の方々に, 自らの研究成果をアピールし, 情報交換ならびに交流を深めていただきます。発表形式はポスター発表 (60 分) です。ポスター発表に関しては従来通り, 若手講演ポスター賞を選出いたします。奮ってご応募ください。
期日 9 月 10 日 (日)・11 日 (月) の予定
会場 東京理科大学葛飾キャンパス (年会会場)
募集対象 概ね 30 歳以下の学生会員及び若手研究者 (個人会員に限る)
募集件数 制限なし。
講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン (Web) 上からお申し込みください。「発表形式」の欄で“03: 若手講演 (ポスター発表)”を選択してください。講演申込・講演要旨入力はすべて本年会の講演申込・要旨入力等の諸規則に準じます。
講演申込締切 第 66 年会講演申込と同じ

【シンポジウム枠での一般講演口頭発表募集】

本年会では, 別記の特別シンポジウム枠内 (下線のあるシンポジウム) で講演する一般講演を募集します。発表形式は口頭発表に限ります。講演時間は 15

分 (討論時間を含む) です。

講演形式 「発表形式」の欄で“01: 一般講演 (口頭)”を選択し, 次に「特別シンポジウム分類」を選択してください。ご希望の特別シンポジウムを選んでください。この場合, 講演分類より選択した特別シンポジウムを優先してプログラムを組みます。但し, 講演募集をしないシンポジウムもあります。また, 希望に添えない場合もありますので, 予めご了承ください。「特別シンポジウム枠での発表を希望しない」を選択された場合は, 従来通り講演分類に従ってプログラムを組みます。講演分類は年会 HP を参照ください。

講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン (Web) 上からお申し込みください。

【第 66 年会付設展示会等出展のお願い】

機器・カタログ出展及び
ランチョンセミナー

主催 日本分析化学会第 66 年会実行委員会
分析・計測機器関連のメーカー・販売会社, 分析技術提供会社, 関連書籍出版社と年会参加者の相互交流・情報交換の場として, 機器展示会およびカタログ展示会を開催します。また, 年会期間中の昼休みを利用してランチョンセミナーを開催します。展示会およびランチョンセミナーに参加ご協力のほどお願い申し上げます。

【機器・カタログ展示会】

展示日時 9 月 10 日 (日) ~12 日 (火) (但し, 12 日は 14 時 30 分までの予定)

会場 東京理科大学葛飾キャンパス

展示料 機器展示 1 ブース (間口 180cm × 奥行 90cm の予定, 単相 100V の電源を用意): 100,000 円

カタログ展示 (A4 判サイズ基準) 1 件: 20,000 円, 2 件: 30,000 円 (いずれも税別)

※機器展示の申込の場合, カタログ展示料は無料

締切日 7 月 26 日 (水)

※カタログおよび書籍は長机上に展示します。装飾の類は請け負いません。機器展示ブースは申込順に受付し, 満コマになり次第締め切ります。

【ランチョンセミナー】

日時 9 月 10 日 (日)・11 日 (月) 12 時~12 時 5 分 (予定)

会場 東京理科大学葛飾キャンパス (年会会場内)

開催費用 150,000 円 (税別)

※セミナー運営に関する費用 (昼食用弁当など) は別途。

締切日 6 月 29 日 (木)

問合・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-4 (友野本社ビル) (株) 明報社 (担当: 後藤) [電話: 03-3546-1337, FAX: 03-3546-6306]

E-mail: info@meihosha.co.jp

※機器展示申込方法およびランチョンセミナーの詳細は (株) 明報社にお問い合わせください。

【宿泊について】

最近、東京の宿泊予約が取りにくいと言われて
いますので、参加予定の方は宿泊予約を早めに行
なうことをおすすめします。実行委員会では宿泊
予約などの手配は行いません。

【託児所について】

託児所を開設する方向で準備を進めています。
詳細は、年会 HP に掲載いたします。

【Web 版講演要旨集の発行日について】

第 66 年会 Web 版講演要旨集の発行日は、2017 年 8
月 26 日です。特許出願の際は、下記の特許庁ホーム
ページを参照のうえ、専門家である弁理士にご相談い
ただきますようお願いいたします。なお、講演発表者
の特許出願にあたり、特許法第 30 条 1 項（発明の新
規性喪失の例外）の適用を受けるための手続きが簡
素化されています。

詳細は下記の特許庁ホームページを参照ください。

<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>

【特別シンポジウム】

主催 第 66 年会実行委員会

第 66 年会実行委員会では年会開催期間に併せて下
記のシンポジウムを企画しております。

期日 9 月 9 日（土）～12 日（火）

場所 東京理科大学葛飾キャンパス（年会会場）

1. 分析技術による企業内 R&D 推進と課題解決
2. 定量分析法としての NMR の意義と応用
3. ナノ・マイクロ化学分析の最前線
4. 流れ分析法とその関連技術の新展開
5. 分離メカニズムの創成～前処理と分離検出の
新展開～
6. 分析化学をリードする若手研究者シンポジウム
7. センサ IoT と分析化学の融合展開
8. 実試料に挑む電気分析化学
9. 未来を育む暮らしの安全・安心と分析化学
10. 細胞分析の新展開
11. 最先端分離化学とその応用

注) タイトルに下線があるシンポジウムは一般
講演も募集します。なお、開催日は調整中
です。

【特別公開シンポジウム；産業界シンポジウム】

一企業における未来志向の最先端分析解析技術一

主催 日本分析化学会産業界シンポジウム企画運営
委員会・第 66 年会実行委員会

趣旨 分析化学は、過去から企業の研究・生産等の
事業活動を支えてきた。最近の分析・解析技術の
発展は著しく、観えないものが観え、解らないこ

とが解るように、まさに分析化学は現象の本質理
解に迫ることができるようになり、企業の分析・
解析部門においても、最先端の分析・解析技術を
駆使して、現象の本質理解や課題解決を行なっ
てきた。企業における最先端の分析化学とその展
開・将来像について議論することを目的とする。

期日 9 月 10 日（日）午後

場所 東京理科大学葛飾キャンパス

参加費 無料

参加方法 直接会場へお越しください。

【チュートリアルセッション；分析化学実験 基本の” き”（その基本、おさえていますか？）】

主催 日本分析化学会・第 66 年会実行委員会

期日 9 月 9 日（土）午後

場所 東京理科大学葛飾キャンパス

参加費 無料

参加方法 直接会場へお越しください。

【Asia/CJK symposium on analytical science 2017）】

－ 講演募集 －

主催 日本分析化学会・第 66 年会実行委員会

期日 9 月 9 日（土）・10 日（日）

場所 東京理科大学葛飾キャンパス

講演申込締切日 6 月 14 日（水）

英文で発表タイトル、発表者氏名、所属、口頭・
ポスターの別を記載し satoh@niu.ac.jp、及び
uchiyama-katsumi@tmu.ac.jp まで送信してください。

講演要旨提出締切日 7 月 5 日（水）

HP からテンプレートをダウンロードし、2 ページ
以内で要旨を作製し、申込みと同じアドレスまで送
信してください。詳細は Asia/CJK ホームページをご
覧ください。

注) 本国際会議 (Asia/CJK) に参加する日本在住の方
は、66 年会参加登録が必要です。参加者には
Asia/CJK の講演要旨集を当日お渡しする予定
です。

【分析化学フューチャーセッション】

趣旨 日本分析化学会第 66 年会の初日（9 日）に米
国化学会、王立化学会及び Asia 地域から著名な先
生方によるセッションを開催します。本セッション
では講演者自身の研究紹介とあわせて、将来の
分析化学を展望していただきます。

期日 9 月 9 日（土）

場所 東京理科大学葛飾キャンパス

講演者 米国、英国、日本を含むアジアの著名研究者。詳細は年会 HP をご覧ください。

【第 66 年会参加登録について】

本年会に参加する場合には、全員参加登録をしていただきます。また、研究発表の登壇者（テクノレビュー講演者を除く）は年会への参加申込登録をしないと講演発表ができませんので、必ず参加登録をしてください。参加登録料および懇親会参加費などは以下の通りです。**参加登録料には Asia/ CJK 参加費を含みます。**参加申込方法の詳細は年会 HP に掲載いたします。本年会ではミキサーは開催いたしません。

[参加登録料、懇親会参加費]

1. 参加登録料

予約：会員 12,000 円，学生会員 4,000 円，会員外 17,000 円，会員外学生 7,000 円

[当日：会員 15,000 円，学生会員 6,000 円，会員外 20,000 円，会員外学生 8,000 円]

注) 会員には団体会員(維持会員)に所属する方を含みますが、特別会員および公益会員の場合は、1 名に限り会員扱いとなります。

注) 会員の方の参加登録料は不課税扱いです。会員外、会員外学生は税込金額です。

2. 懇親会参加費 予約：一般 6,000 円，学生 3,000 円 [当日：一般 8,000 円，学生 4,000 円]

懇親会参加費はすべて税込金額です。

3. Asia/ CJK 懇親会 (9 月 9 日) 参加費は予約、当日とも参加費は 5,000 円 (税込み) です。

[その他事項]

- ・参加予約申込は 7 月上旬に開始予定です。
- ・講演プログラム速報版は年会 HP に 7 月下旬までに掲載予定です。

附記：記載された内容は 5 月 15 日現在です。変更することもあります。

【各種お問い合わせ先】

1. 学会事務局

会員登録情報の変更、会員 ID・パスワード及び年会全般に関する質問は公益社団法人日本分析化学会事務局へお問い合わせください。

公益社団法人日本分析化学会事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2

五反田サンハイツ 304

E-mail online@jsac.or.jp

電話：03-3490-3351 (夜間、土日、祝日を除く)

2. 年会ヘルプデスク

講演申込など Web システム、参加費納入に関する質問は第 66 年会ヘルプデスクへお問い合わせください。

第 66 年会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

(株) 国際文献社内

E-mail: jsac-desk@bunken.co.jp

電話：03-5937-0216

注) 電話対応時間は土日、祝日を除く営業日の 9 時～12 時，13 時～17 時です。

3. 実行委員会

シンポジウム講演、国際会議 (Asia/ CJK) 及び会場に関する質問は実行委員会へお問い合わせください。

第 66 年会実行委員会事務局

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3

東京理科大学理学部 1 部化学科

実行委員長 宮村一夫

E-mail: nenkai66-m1@tusml.tus.ac.jp